

今こそやろう減災式

夏到来！台風シーズンを前に「**命を守ること**」について考え、減災式を導き出します。

近年発生する多くの災害は、そのほとんどが自然の力により引き起こされています。繰り返す自然災害は巨大化する頻度が多くなり、昔のように100年に一度の災害と呼ばれたものが、ある日を境に毎年繰り返し襲ってくるようになりました。私たちの社会は、大自然の中のほんのちっぽけな部分であり、大自然の大半を知らないのです。ところが、自然の多くを知っているかのような勘違いが生じているのです。



それらは、気象予報や各種先進技術を過信し、巨大災害に対応可能だと思いつているのではないのでしょうか。確かに、日々多くの専門家が大自然に立ち向かうために研究し、新しい技術と情報を発信しています。でも今日の日本人は、それらの上にあぐらをかいてしまい、大切な命を守るための防災減災活動ですら、どこか間違ってきている事に気がついていないのです。

何故、そのように思うのかといえば、災害対策基本法による行政主導で進められた市民の感覚からかけ離れた防災活動が原因ではないかと思ったからです。

行政は災害対策基本法に則り、市民を守るために考え動いていますが、そこには、市民の備える方向性を誤らせる原因があるのです。それは「災害に強い街づくり」という言葉です。「街」＝ハードウェアの整備。いくら強いハードを造っても、中に住む人がついてこなければ何の意味もありません。それを補う為に「災害発生時の対応力を高める。その為に人材育成」＝ソフトウェアの整備。と声高に唱えれば唱えるほど、市民はお気楽防災をするようになっていきます。それは何故か？頼りになる行政の誰かが何処かでやってくれと信じ、行政が何か言ってくるまで待つという、行政に身の安全を委ねているのです。これが全国的な現在の防災感覚で「甘えの防災・お気楽防災」と言われるものです。この感覚を持った状態が、蔓延することを懸念した行政は、声高に「**自分の命は自分で守りましょう**」と連呼するのです。ところが「**自分の命は自分で守る**」この言葉の意味を、行政も理解せずに発信する為に、受け取る側の市民にはもっと理解できないことが起こってしまっています。

「自分の命は自分で守る」この言葉は、**自主的に行動せよ**というのではなく、**主体的に行動せよ**ということなのです。この「**主体的に**」の大切な意味が理解されずに、勘違いとして「**自主的に**」と「**主体的に**」を混同して使用されています。

「**自主的**」とは、単純に「やるべきこと」が明確な場合で、その行動を率先して人に言われる前に自らやることです。「**自主的に動け**」は「同じやるなら、やれといわれてからやるのではなく、自分でやろうと思ってやれ」ということです。具体的には「**自主的な人は、上司や周囲から言われなくても、率先して元気よく挨拶することができる**」ということなのです。

「**主体的**」とは、何をやるかは決まっていない状況下で、自分で考え判断し行動することです。「**主体性をもって行動する**」とは、「**状況を判断して、自らの責任で最も効果的な行動をとる**」ということなのです。具体的にいうと「**主体的な人は、挨拶をする目的を考えます。その目的が『職場環境をよくすること』と定義したのなら、挨拶以外に朝礼を企画し実行する**」となります。

防災的に表現するなら「**避難勧告が出たら逃げよう**」と考えた場合、ここには主体性は存在しません。行政から「**逃げてください**」と言われなければ逃げないのですか？と聞きたい。過去の事例では、避難勧告が出ないので逃げなかった人が亡くなっています。東日本大震災でクローズアップされた「**ハザードマップでは、ここまで水が来ると記載されていなかったから逃げなかった**」！



そんな人が多く亡くなっているのです。これらの人は主体性を持っていなかったと考えられます。これがまさに「**行政に命を丸投げした**」といえます。

これらは「**防災は行政がやるもの**」と思い込み、過剰に安全対策を行政に依存し、自分の命も、そして自分の大切な人の命をも委ねてしまった結果といえます。

みなさん！自分の命くらいは主体的に守りましょう。「**目の前の川が溢れそうだ。でも行政から何も言っていないから大丈夫なのだろう**」と、こんなバカな判断はありません。川が溢れる前に逃げるべきです！行政もすべての情報を正確に掴んでいるわけではありません。ひょっとしたら、水位計や雨量計が故障しているかも知れない！また、行政の職員全員が先に避難を済ませているかもしれないと疑うべきなのです。

みなさん、行政によって決められた想定だけにとられるのではなく、自分で臨機応変に考え、主体的に最善策を探る。そのような防災活動が昨今の巨大災害や突発的災害に対応できる「**命を守る本当の防災**」ではないでしょうか。

今、日本の防災に必要なことは「**自分の命を守ることを主体的に考え、責任を持つ**」ことです。

これが今回の減災式「**主体的であれ！**」なのです。

